

- 日 時 令和5年2月2日(木) 15:40~16:55
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局(校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長、
特別活動部長、保健部長)
- 内 容
- 1 校長挨拶
 - 2 会長挨拶
 - 3 学校報告
 - ア) 学校運営協議会への意見書の提出
令和4年11月1日より令和5年2月1日まで なし
 - イ) 令和5年度教育課程報告等(教務部)
 - ウ) 14期生進路報告(進路指導部)
 - エ) 生徒指導状況報告(生徒指導部)
 - オ) 特別活動関係報告(特別活動部)
 - カ) 保健関係報告(保健部)
 - キ) 令和4年度学校評価及び令和5年度学校経営計画(案)
 - ク) 学校教育自己診断結果報告
 - ケ) その他
 - 4 意見交換
 - 5 校長謝辞
 - 6 諸連絡

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

*生徒指導について

⇒今年度の遅刻件数はすでに昨年度を超えている。少ない年度のときは遅刻の指導を強化していた。生徒指導には一貫性、厳しさが必要。学年の先生方にもきちんと伝えてなかったと思っている。

○親としては遅刻していないと信じるが、何かあったら家庭でも指導しないといけない。

○何のために生徒指導があるかは、「社会の中で幸せに暮らせるように」と生徒に言うと、そのときは分からなくても、「あのときはそうだったのか」と後で分かる。

○先生が指導したときに他の先生がフォローし、こういう気持ちでやっているということを伝えてはどうか。

○校則に関しては 生徒たちが主体的に考え保護者も交え考えていければよい。

*特別活動について

⇒来年度も9割の生徒が満足して行事に参加できることを目標にする。現在、生徒会はサポーターを含め14名いる。自分たちで何かしたいと考え、ウクライナ支援の募金のよびかけをしている。自分たちで考え行動することによって生徒会活動に関心をもつ生徒も増えるのではないかと。

○生徒会執行部が実施しているウクライナ支援の募金について、保護者へアナウンスすれば PTA として協力できるので、申し出てほしい。

⇒部活動は80%をきっているのので、参加率をあげたいが具体的な案はまだない。部活内でも1, 2年生が打たれ弱くなっている。もっと強気になればいいのと思う。

○もっと強気もいいが、今でも十分よいのでは。先生が強気でいけばよい。いい子たちすぎるので、もっと褒めてやるとよい。

○豊中第九中学校のイルミネーション設置に生徒会執行部やダンス部と協力した。密に連絡をとってやりたい。

○美術部は公民館祭りに来てくれた。最初は指導者が指示したが、2回目は生徒が自分で考えてやってくれた。この活動がつながっていけばと思う。地域が受け入れることも大切でこちらが勉強になった。

*学校教育自己診断結果報告

⇒オンラインで実施し、教員・生徒はほぼ100%の回収率であった。今年度は保護者はオンラインと紙で実施し、回収率は81.7%であった。回収率は伸びてきている。

広報活動でインスタグラムを使用することも増えている。

○一番すごいと思うのは「学校に信頼できる友達がいる」が96%であること。昨年も高かったがさらに高くなっている。また、「自分が決めた進路」に満足している割合が高い。9割近い生徒が進路に満足している。中学校から見ても魅力的であり、このことを発信できればよいと思う。「いい人間関係」と「進路」に満足しているという今の現状はいいのではないか。

*学校経営計画及び学校評価について

⇒令和5年度の計画について。

一昨年度は志願調査のグラフはV字だったが、昨年と今年は右肩上がりであった。過去8年のなかで志願者数が一番高い。行ける学校ではなく行きたい学校になりつつある。総合学科のなかでも進学をめざす総合学科を続けていきたい。

⇒世界からは日本の分離教育に批判がある。「インクルーシブ教育」とした。

○インクルーシブ教育はすごくいいと思う。

○学校経営計画では、共生推進教育について、語尾を「教育の推進をはかる」とまとめがちである。「インクルーシブ教育」は研ぎ澄まされた言葉で表していてよいと思う。

(全員から承認された。)

*ペーパーレス化について

⇒プリントを使わずオンラインで連絡する動きがある。今年は生徒、保護者、教員に対してオンラインで連絡した。紙はいらないのではないか。

○ペーパーレス化はいい考えだと思う。子どもは家で手紙を渡さないのので、保護者にとっては助かる。環境にもよい。

○めざすところはペーパーレスである。

○通信料はどうするかの問題はあるが、1学期は紙と電子で、2学期からは電子だけでよいのではないか。

○入学説明会で説明するとよい。「基本的には電子で」が主流である。

○豊中市立の中学校では「コドモン」という学校連絡配信のアプリがある。お知らせ配信(メール配信)のみで済む。保護者と子どもと一緒に確認してほしい資料は紙で配付するようにする。保護者はいつでもどこでも見られるので非常にありがたいと言っている。豊中市では年度当初に登録してもらい、98%が登録済みである。

⇒グーグルクラスルームの登録について、保護者への対応が難しい。